

特定非営利活動法人
海外に子ども用車椅子を送る会
代表者名： 森田 祐和

平成20年度事業報告

I. 事業収支

	単位 円		
	平成20年度予算	平成20年度実績	平成19年度実績
車いす寄贈台数	380台	477台	214台
収入総額	3,954,500円	4,450,464円	3,580,684円
支出総額	5,053,000円	4,282,638円	3,207,059円
次年度繰越	1,716,158円	2,814,658円	2,646,832円

II. 事業目標の達成状況

(1) 車いすの寄贈

平成20年度はベトナム:172台(5月)、マレーシア:80台(6月)、ベリーズ:10台(6月)、パラグアイ:80台(11月)、マレーシア:80台(1月)の422台車いすを寄贈する計画に対して、実績はベトナム:172台(5月)、マレーシア:89台(6月)、ベリーズなどJICAに19台(7月)、パラグアイ:80台(11月)、マレーシア:117台(1月)の477台の寄贈となり、計画を上回った。

(2) 収入と支出

車いすの在庫を減らすために、やむなく大幅な赤字予算を組み、不足費用について多方面に寄付要請した結果、なんとか年度の必要経費を確保することができ、これまで輸送費の問題から寄贈できなかった南米にも寄贈することができた。

III. 事業内容

1. 子ども用車いすの収集

(1) 通年を通して養護学校、各家庭などから収集、毎月20台～30台の子ども車いすが集まり、3カ所の倉庫在庫にまったく手つかずの状態となった。

電動車いすと大人用車いすについては今年度から断る方針を貫いた結果、今年度については電動車いすと大人用車いすの受取りはほとんどなかった。

(2) 車いすの廃棄

①提供していただいている不要車いすは状態の良いものばかりとは限らず、使用に耐えられないものも多いのが現実で、4年間に寄贈することができない状態の悪い車いすが溜まってしまったことから4トントラック3台分を素材リサイクルに費用負担して抛出した。

②上記により変換を求められていた倉庫スペースを返還することができた。

(3) 課題

毎月の整備処理能力に相当する20～30台の車いすの提供があることから、在庫の約300台が2年近く手付かずの状態になり、在庫品の劣化が始まっている。

車いすの整備・洗浄・梱包

(1) 毎月第三日曜日に収集した車いすを洗浄、補修して新品同様にする整備を実施した。

(2) つぎの整備を完了した。

マレーシア向け 80台

JICA向け 19台

パラグアイ向け 80台

マレーシア向け 117台

フィリピン向け 50台

合計 346台

※ベトナム向けは前年度末で整備完了

※フィリピン向けの発送次年度

3. 車いすの発送

(1) つぎの3カ国へ車いすを発送、寄贈した。

①平成20年5月 ベトナム 172台

ベトナム赤十字社へ寄贈の子ども用車いす40台、大人用車いす124台、シャワーチェア8台を寄贈、6月19日当会はベトナム赤十字との協力で、ハイズオン県の赤十字県本部敷地でタイ赤十字副総裁、県副知事、日本大使館から真鍋参事官、関係者80名に出席いただき贈呈式を行った。

②平成20年6月 マレーシア 89台

ALEPS（東方政策元日本留学生同窓会）の協力を得て、7月22日にクアラルンプール郊外のセラヤン地区のリハビリテーションセンターで贈呈式を行った。

③平成20年7月 JICA(ベリーズ:10台 エクアドル:2台 パキスタン:6台 パラグアイ:1台)

JICA（独立行政法人 国際協力機構）から海外へ派遣されている青年海外協力隊員からの子ども用車いす提供要請に応じて、JICAの「世界の笑顔のために」プログラムに応募、ベリーズ、パキスタン、エクアドルに子ども用車いす、座位保持装置とエクアドルに短下肢装具を送った。

④平成20年10月 パラグアイ 80台

10月10日にパラグアイ大使館においてパラグアイの全国障害者協会(会長 大統領夫人)に寄贈する80台の子ども用車いすの目録贈呈を行った。

⑤平成21年2月 マレーシア 117台

3月9日首都クアラルンプール郊外のゴンバという町のリハビリテーションセンターで日本大使館から星山公使、ゴンバ地区役員、保護者など約100人が出席して行われた。

その模様は新聞で「中古の車いすは日本ではゴミかも知れないが、マレーシアの身体障害児には第2の幸せな人生のサポートに役立っている」という書き出しにより紹介された。

4. 広報啓発活動

(1) 会報発行

平成21年1月に発行、会員、支援企業、団体、養護学校、寄付をいただいた人、車いすを提供していただいた人等に配布した。

(2) パンフレット配布

寄付をいただいた人、車いすを提供していただいた人、その他当会の活動の理解を得るために必要に応じて配布している。

(3) ミニ通信

毎月、当会の活動状況をタイムリーに報告することを目的に作成、会員、支援企業・団体、寄付をいただいた人、車いすを提供していただいた人、車いす収集に協力いただいた養護学校のPTAなどに配布している。

平成21年3月末現在配布数250部。

(4) ホームページ

新しい事実が発生したとき随時更新を実施

5. 啓蒙活動「小学生、中学生の活動への参画」

(1) 都立高校社会貢献授業への協力

平成19年度の都立高校1年生から年3日の社会貢献体験の参加が授業として必修化されたことに協力、都立福生高校約30名と多摩工業高校4名の生徒の7～10月に例会参加を受け入れ、洗浄および発送梱包のボランティア活動体験していただいた。

(2) 小、中学生の活動の参画

平成20年7月と8月に2名の小学生に車いす洗浄のボランティア体験をしていただいた。

IV. 事業成果

<事業成果>

- (1)2004年の活動開始以来の寄贈実績が1000台を超え、11ヵ国に15回、1150台となった。
- (2)輸送費負担の関係で送ることが困難視されていた南米にも、寄付の協力が得られて送ることができた。

<成果物>

1. ベトナム赤十字社へ子ども用車いす寄贈
 - (1) 送付した車いすの写真一覧
 - (2) 送付した車いすのシートサイズ一覧
 - (3) 「車いす贈呈式」写真一覧
 - (4) 送付した車いすの送り状(写)
2. マレーシア東方政策元日本留学生同窓会へ子ども用車いす寄贈
 - (1) 送付した車いすの写真一覧
 - (2) 車いすのシートサイズ一覧
 - (3) 「車いす贈呈式」写真一覧
 - (4) 送付した車いすの送り状(写)
3. JICA「世界の笑顔のために」プログラムへ子ども用車いす寄贈
 - (1)送付した車いすの写真一覧
 - (2)送付した車いすのシートサイズ一覧
 - (3)「世界の笑顔のために」プログラム提供物品リスト
 - (4)ベリーズ派遣青年海外協力隊員からのお礼状と写真
4. パラグアイ全国障害者協会へ子ども用車いす寄贈
 - (1) 送付した車いすの写真一覧
 - (2) 送付した車いすのシートサイズ一覧
 - (3) 送付した車いすの送り状(写)
 - (4)車いす取扱い説明書
5. マレーシア東方政策元日本留学生同窓会へ子ども用車いす寄贈
 - (1) 送付した車いすの写真一覧
 - (2) 車いすのシートサイズ一覧
 - (3) 「車いす贈呈式」写真一覧
 - (4) 送付した車いすの送り状(写)